

臨床倫理申請（コンサルテーション依頼）用紙

□年 ○月 ☆日

申請者氏名	〇〇 〇〇	職種・役職名	医師・講師
所属部署 (病棟)等	産婦人科	Eメールアドレス	△△@□□□
	周産母子センター	連絡先PHS他	××××
患者ID（対象患者が特定されている場合）：			
Q1. 今回の申請（コンサルテーション依頼）の形態は？（以下のいずれかに○をして下さい。）			
A. 個人 ㊸病棟チーム C. その他 []			
*「個人」の場合、当該事例の患者さんとの関係は？〔例〕主治医]			
Q2. 今回の申請（コンサルテーション依頼）の内容は？（ポイントをできるだけ明確に記載して下さい）			
<p>件名（簡略に記載願います）：乳癌症例に対する妊孕性温存のための卵子凍結の可否について</p> <p>内容：症例は40歳女性、未婚、乳癌初期であり、今後の癌治療により妊孕性の低下が予想される方です。乳癌治療が終了した際に妊娠の可能性を残すため、卵子凍結の希望があります。問題点は40歳と高齢で妊娠につながる卵子が採取できない可能性があること、体重109kgと高度肥満があり、合併症（卵巣穿刺の際の腸管損傷、血管損傷、感染症）が生じた場合、6月に予定している乳癌手術に悪影響を及ぼす可能性があることです。がん患者に対する卵子凍結は琉球大学臨床研究倫理審査で承認済みではありますが、本来は研究としてではなく医療行為としての倫理審査で審査を行う必要があるものでした。今回新たに病院倫理審査会ができたことにより、審査を希望いたします。</p>			
Q3. 現時点で医療者側が「医学的に最善」と考えている方針は？		Q4. 現時点で「患者さんが最も望んでいる」と考えられることは？	
<p>1. 乳がん治療により卵巣機能の低下が予測さ</p> <p>2. 採卵による合併症なく、がん治療に悪影響をきたすことなく卵子凍結を行うこと</p> <p>3. 採卵のリスクを下げる工夫をすることで効用が上回ると判断</p> <p>4. 高齢であることから卵子を採取できない可能性はあり</p>		<p>1. 患者の判断能力は問題なし</p> <p>2. 状況をよく理解し、卵子凍結をとよく願っている</p> <p>3. 妊孕性温存のための卵子凍結についてICを行い、同意を得ている</p> <p>4. ADなし</p> <p>5. キーパーソン：姉</p>	
Q5. 現時点の患者さんのQOL（身体的充足度・精神的満足度）は？		Q6. 現時点の「ご家族の意向」は？（「家族」の定義・キーパーソンの選定）	
<p>1. 現時点のQOLは特に問題なし</p> <p>2. 採卵を行った場合の合併症（卵巣穿刺の際の腸管損傷、血管損傷、感染症）や、卵子が採取できなかった場合の精神的苦痛によりQOLの低下を認める可能性あり</p>		<p>1. 姉は同意している。現在両親、他の兄弟にも確認中</p> <p>2. 全額自費だが、本人は了承している。</p>	
Q7. 担当医療チーム（看護師等コメディカルを含む）での検討を行いましたか？（YES）			
「YES」の場合、チームの意向は？（一致している）		「NO」の場合その理由は？	

申請番号

受付者氏名